

1 幼稚園

園児数 7,411 人で減少

3歳児入園者の割合が92%台に上昇

表1 幼稚園の推移

(単位：園、級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
			園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数 C/B	対前年度増減数	園児数 C/D	対前年度増減数	
平成18	100	492	8,929	△0.5	732	0.3	18.1	△0.2	12.2	△0.1	93.9
19	99	489	8,683	△2.8	720	△1.6	17.8	△0.3	12.1	△0.1	93.5
20	99	488	8,208	△5.5	711	△1.3	16.8	△1.0	11.5	△0.6	93.7
21	99	481	7,823	△4.7	677	△4.8	16.3	△0.5	11.6	0.1	93.6
22	94	467	7,660	△2.1	664	△1.9	16.4	0.1	11.5	△0.1	93.8
23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1	94.4
国立	1	5	117	△1.7	7	16.7	23.4	△0.4	16.7	△3.1	100.0
公立	33	123	1,611	△2.6	137	△7.4	13.1	△0.6	11.8	0.6	100.0
私立	59	338	5,683	△3.5	494	△3.1	16.8	△0.5	11.5	0.0	92.7

(1) 幼稚園数

幼稚園数は前年度より1園減少(廃園)し、93園となり、このうち休園中の幼稚園は3園(私立3園)であった。

設置者別にみると、国立が1園、公立が33園、私立が59園となっている。

(表1、統計表2)

(2) 学級数

学級数は466学級(国立5学級、公立123学級、私立338学級)で、前年度より1学級減少した。

収容人員別にみると、1~15人学級が155学級で最も多く、次いで16~20人学級が114学級、21~25人学級が91学級となっている。

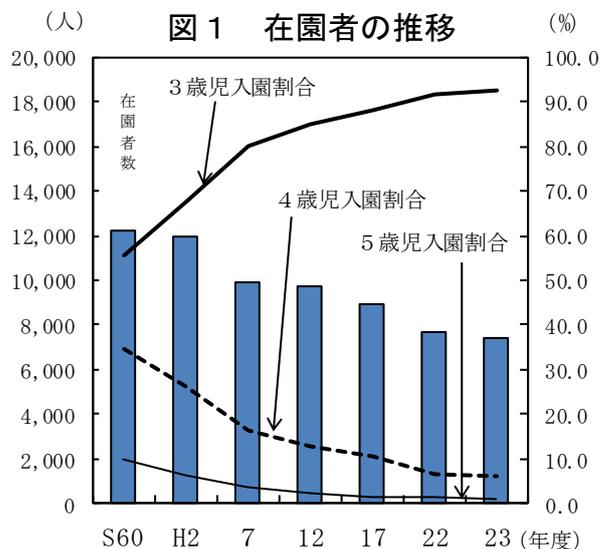
(表1、統計表7、8)

(3) 園児数

園児数は7,411人で、前年度より249人(3.3%)減少した。

男女別にみると、男子が3,744人で前年度より149人(3.8%)減少し、女子が3,667人で前年度より100人(2.7%)減少している。

設置者別では、国立が117人、公立が1,611人、私立が5,683人で、私立が全体の76.7%を占めている。



年齢別では、3歳児が2,338人で前年度より124人(5.0%)減少し、4歳児が2,555人で前年度より72人(2.9%)増加、5歳児が2,518人で前年度より197人(7.3%)減少した。園児数に占める3歳児の割合は31.5%(前年度32.1%)となった。

また、在園者に占める3歳児入園者の割合は、92.6%(前年度91.9%)となった。

本務教員1人当たりの園児数は11.6人(前年度11.5人)で、全国の14.5人を下回っている。(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位:人、%)

年度	在園者 総数	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児 入園者 の割合	
			総数	3歳か ら入園	4歳か ら入園	総数	3歳か ら入園	4歳か ら入園		5歳か ら入園
平成18	8,929	2,863	3,022	2,628	394	3,044	2,447	425	172	88.9
19	8,683	2,856	2,820	2,507	313	3,007	2,495	414	98	90.5
20	8,208	2,618	2,764	2,484	280	2,826	2,402	328	96	91.4
21	7,823	2,387	2,697	2,447	250	2,739	2,357	305	77	91.9
22	7,660	2,462	2,483	2,246	237	2,715	2,329	279	107	91.9
23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
男子	3,744	1,145	1,306	1,196	110	1,293	1,119	131	43	92.4
女子	3,667	1,193	1,249	1,147	102	1,225	1,064	119	42	92.8
国立	117	27	43	26	17	47	24	19	4	65.8
公立	1,611	477	584	494	90	550	407	117	26	85.5
私立	5,683	1,834	1,928	1,823	105	1,921	1,752	114	55	95.2

幼稚園就園率(小学校1年生児童のうち幼稚園修了者の占める割合)は28.9%で、前年度より0.3ポイント上昇した。

(表3、統計表10、19)

表3 幼稚園就園率

(単位:人、%)

年度	幼稚園 修了者数	小学1年生数	就園率
平成18	3,056	10,173	30.0
19	3,029	10,125	29.9
20	2,996	10,168	29.5
21	2,804	9,673	29.0
22	2,745	9,586	28.6
23	2,695	9,327	28.9

注) 就園率=幼稚園修了者数÷小学1年生数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は638人で、前年度より26人(3.9%)減少した。

男女別にみると、男子教員は36人で前年度より5人(12.2%)減少し、女子教員は602人で前年度より21人(3.4%)減少した。

職員数は126人で、前年度より1人増加した。

(表1、統計表9、12、14)

2 小 学 校

児童数 59,145 人で減少
不登校の人数は減少

表 4 小学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			児童数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D	対前年度 増減数	
平成18	211	2,448	61,441	0.6	3,669	△1.0	25.1	0.3	16.7	0.2	69.1
19	210	2,435	61,048	△0.6	3,662	△0.2	25.1	0.0	16.7	0.0	68.7
20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0	68.5
21	204	2,445	60,459	△1.1	3,679	0.3	24.7	△0.2	16.4	△0.3	68.2
22	203	2,430	59,870	△1.0	3,700	0.6	24.6	△0.1	16.2	△0.2	68.2
23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3	67.5
国立	1	12	476	0.4	18	0.0	39.7	0.2	26.4	0.1	33.3
公立	200	2,420	58,669	△1.2	3,699	0.5	24.2	△0.4	15.9	△0.2	67.7

(1) 学校数

学校数は前年度より2校減少(新設2校、廃校4校)し、201校(本校201校)となり、このうち休校は3校であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が200校となっている。

市町村別では、富山市66校、高岡市28校、射水市15校等となっている。

学級数別学校数をみると、7学級の学校が29校(構成比14.4%)で最も多くなっている。

学級規模別学校数では、11学級以下(小規模校)が100校(構成比49.8%)、12~18学級(標準校)が66校(同32.8%)、19学級以上(大規模校)が35校(同17.4%)となっている。(表4、統計表17、26)

(2) 学級数

学級数は2,432学級で、前年度より2学級増加した。

編制方式別にみると、単式学級が2,103学級(構成比86.5%)、複式学級が27学級(同1.1%)、特別支援学級が302学級(同12.4%)となっている。(表4、統計表18)

(3) 児童数

児童数は59,145人(男子30,228人、女子28,917人)で、前年度より725人(1.2%)減少した。これは、ピーク時(昭和33年度、159,700人)の37.0%となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が58,127人、複式学級児童が270人、特別支援学級児童が748人となっている。

市町村別では、富山市23,230人、高岡市9,060人、射水市5,580人等となっている。対前年度増減数をみると、富山市172人(0.7%)、氷見市139人(5.3%)、高岡市112人(1.2%)など13市町村で減少している。前年度より増加したのは、砺波市75人(2.5%)、魚津市6人(0.3%)の2市であった。

1学級当たりの児童数は24.3人（前年度24.6人）で、全国の24.9人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は15.9人（前年度16.2人）で、全国の16.4人を下回っている。
 （表4、5、統計表19、29）

表5 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成18	61,441	31,356	30,085	10,173	10,117	10,164	10,329	10,079	10,579
19	61,048	31,238	29,810	10,125	10,186	10,123	10,187	10,341	10,086
20	61,135	31,179	29,956	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
21	60,459	31,027	29,432	9,673	10,152	10,132	10,205	10,121	10,176
22	59,870	30,613	29,257	9,586	9,680	10,151	10,126	10,210	10,117
23	59,145	30,228	28,917	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224

（4）教員数及び職員数

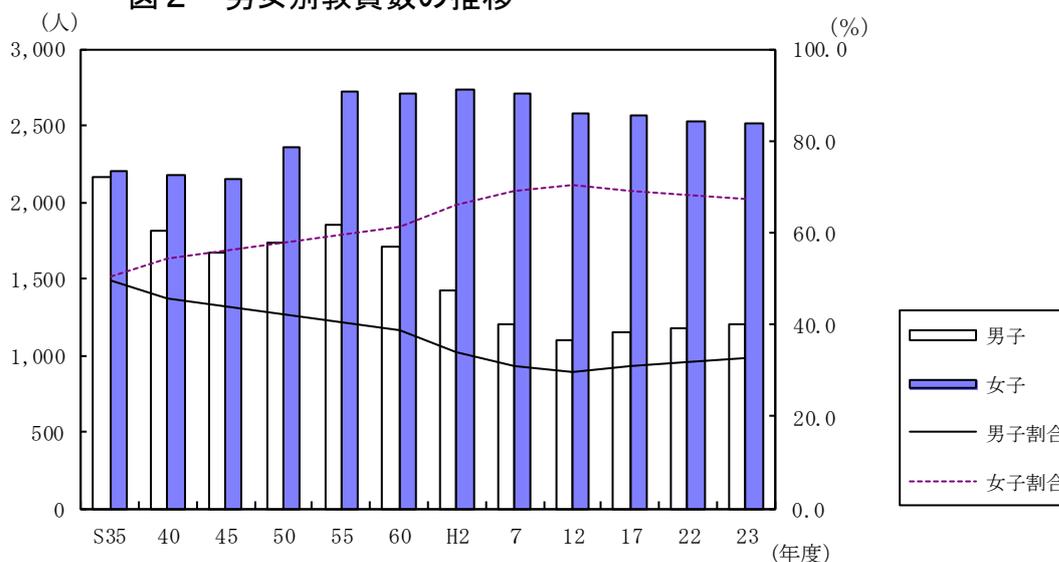
教員数（本務者）は3,717人（男子1,207人、女子2,510人）で、前年度より17人（0.5%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は67.5%となっている。

職員数は875人で、前年度より21人減少した。（表4、6、図2、統計表20、21、34）

表6 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成18	3,669	1,135	2,534
19	3,662	1,146	2,516
20	3,667	1,155	2,512
21	3,679	1,170	2,509
22	3,700	1,178	2,522
23	3,717	1,207	2,510

図2 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 22 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 21 年度間より 38 人 (11.5%) 多い 368 人で、理由別では「不登校」が 187 人 (構成比 50.8%) で最も多く、次いで「その他」が 114 人 (同 31.0%)、「病気」が 64 人 (同 17.4%) となっている。

全児童数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.14 ポイント低い 0.61% で、低い順に全国第 16 位 (前年度第 10 位) であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.01 ポイント低い 0.31% で、低い順に全国第 24 位 (前年度第 26 位) であった。

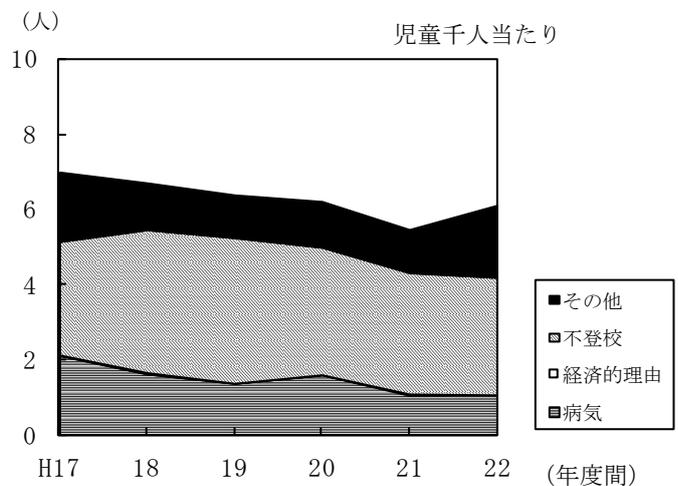
(表 7、8、図 3、4、統計表 23)

表 7 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成17	426	129	1	184	112
18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図 3 長期欠席者の理由別推移



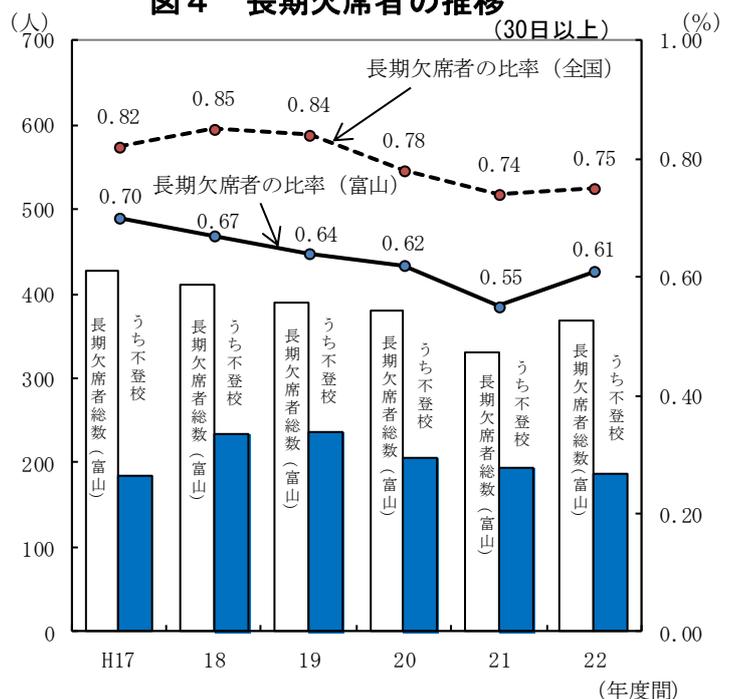
$$\text{児童千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 1000$$

表 8 全児童数に占める不登校の比率

年度間	(単位：%)	
	富山県	全 国
平成17	0.30	0.32
18	0.38	0.33
19	0.39	0.34
20	0.34	0.32
21	0.32	0.32
22	0.31	0.32

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在児童数}} \times 100$$

図 4 長期欠席者の推移



3 中 学 校

生徒数 30,500 人で増加
長期欠席者数は減少

表9 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成18	86	955	30,076	△1.1	2,085	△0.3	31.5	△0.3	14.4	△0.1	47.4
19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0	47.8
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
国立	1	12	478	△0.2	23	△4.2	39.8	△0.1	20.8	0.8	34.8
公立	81	1,011	29,697	0.2	2,122	0.6	29.4	△0.5	14.0	△0.1	48.0
私立	1	9	325	1.9	23	21.1	36.1	0.7	14.1	△2.7	34.8

(1) 学校数

学校数は前年度と同数の83校（本校83校）であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が81校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市28校、高岡市12校、南砺市8校等となっている。

学級数別学校数をみると、13学級が8校で最も多く、次いで12学級が7校、7学級、8学級がいずれも6校ずつとなっている。（表9、統計表36、38）

(2) 学級数

学級数は1,032学級で、前年度より20学級増加した。

編制方式別にみると、単式学級が914学級（構成比88.6%）、特別支援学級が118学級（同11.4%）となっている。（表9、統計表37）

(3) 生徒数

生徒数は30,500人（男子15,550人、女子14,950人）で、前年度より52人（0.2%）増加した。これはピーク時（昭和37年度、88,658人）の34.4%となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が30,187人、特別支援学級生徒が313人となっている。

市町村別では、富山市11,891人、高岡市4,744人、射水市2,771人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市70人（0.6%）、射水市64人（2.4%）、氷見市54人（4.1%）など8市町村で増加している。前年度より減少したのは、砺波市66人（4.3%）、南砺市62人（4.1%）、上市町11人（1.8%）など7市町であった。

1 学級当たりの生徒数は 29.6 人（前年度 30.1 人）で、全国の 29.2 人を上回っている。
本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.1 人（前年度 14.1 人）で、全国と同数であった。

（表 9、10、統計表 40、51）

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成18	30,076	15,324	14,752	9,846	10,051	10,179
19	30,456	15,483	14,973	10,551	9,849	10,056
20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539
22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305

（４）教員数及び職員数

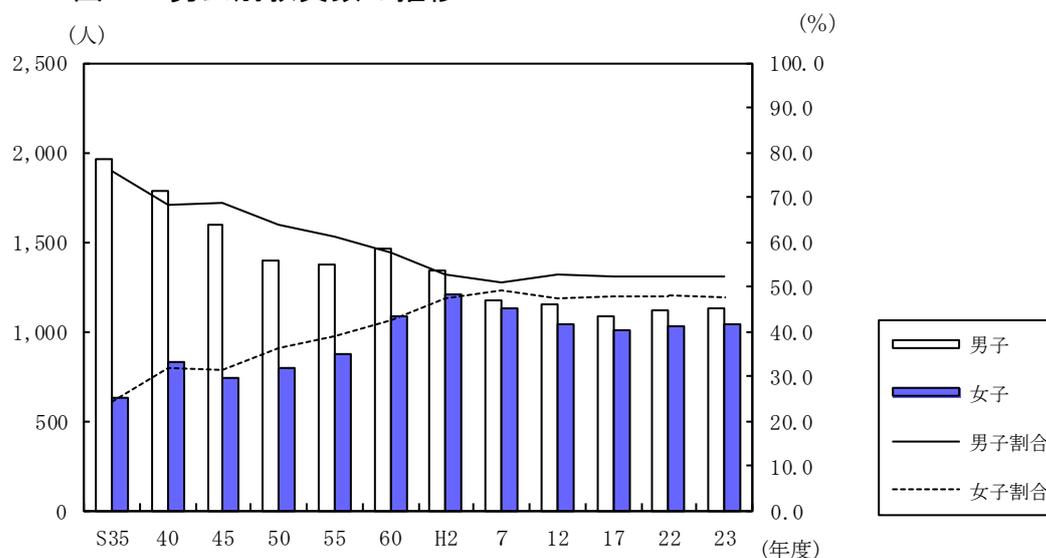
教員数（本務者）は 2,168 人（男子 1,133 人、女子 1,035 人）で、前年度より 15 人（0.7%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 47.7%となっている。

職員数は 316 人で、前年度より 16 人増加した。（表 9、11、図 5、統計表 45、49）

表 11 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 18	2,085	1,096	989
19	2,113	1,104	1,009
20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025
22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 22 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 21 年度間より 14 人 (1.6%) 少ない 871 人で、理由別では「不登校」が 690 人 (構成比 79.2%) で最も多く、次いで「その他」が 124 人 (同 14.2%)、「病気」が 56 人 (同 6.4%) となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.64 ポイント低い 2.86% で、低い順に全国第 8 位 (前年度第 7 位) であった。

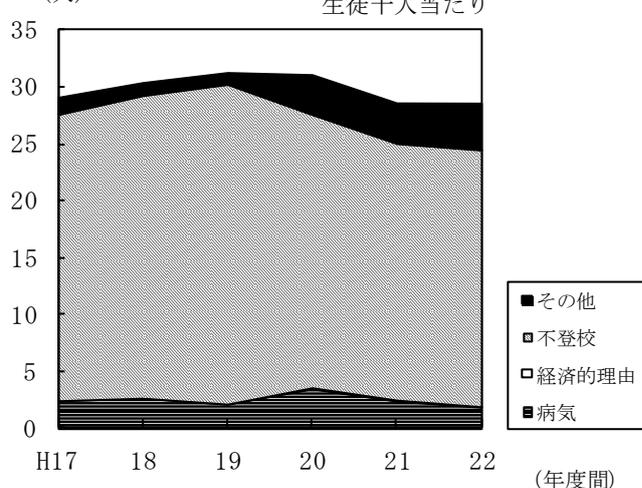
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.46 ポイント低い 2.27% で、低い順に全国第 4 位 (前年度第 4 位) であった。(表 12、13、図 6、7、統計表 42)

表12 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成17	885	73	-	767	45
18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図6 長期欠席者の理由別推移 (人) 生徒千人当たり



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$$

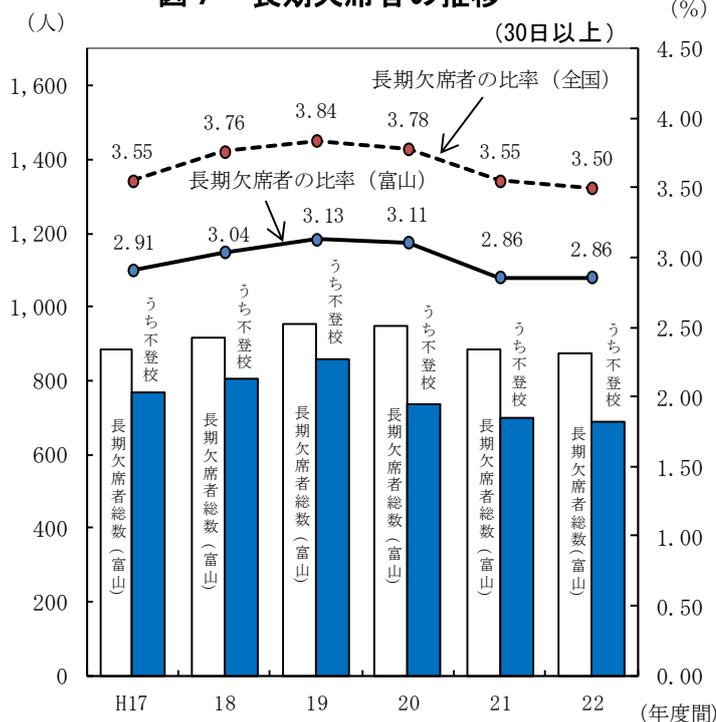
表13 全生徒数に占める不登校の比率 (単位：%)

年度間	富山県	全国
平成17	2.52	2.75
18	2.67	2.86
19	2.82	2.91
20	2.41	2.89
21	2.26	2.77
22	2.27	2.73

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。

図7 長期欠席者の推移 (人) (30日以上)



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。

4 高等学校

【全日制・定時制課程】

生徒数 28,753 人で増加

表14 高等学校の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員 1 人当たり		女子教員の占める割合
		生徒数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	生徒数 B/C	対前年度増減数	
平成18	57	29,794	△3.2	2,400	△0.9	12.4	△0.3	35.3
19	57	28,830	△3.2	2,346	△2.3	12.3	△0.1	35.4
20	58	28,379	△1.6	2,332	△0.6	12.2	△0.1	35.2
21	58	28,110	△0.9	2,318	△0.6	12.1	△0.1	36.0
22	61	28,613	1.8	2,341	1.0	12.2	0.1	36.2
23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0	36.3
公立	51	22,760	0.4	1,932	0.3	11.8	0.0	38.0
私立	10	5,993	0.8	422	1.7	14.2	△0.1	28.7

(1) 学校数

学校数は前年度と同数の 61 校であった。

設置者別にみると、公立が 51 校（全日制 45 校、定時制 5 校、併置 1 校）、私立が 10 校（全日制 10 校）となっている。

学科別では、1 学科のみの単独校が 35 校（普通科 20 校、農業科 2 校、工業科 7 校、商業科 2 校、水産科 1 校、その他 1 校、総合学科 2 校）、総合校が 26 校（普通科と職業科 1 の学校が 17 校、普通科と職業科 2 以上の学校が 7 校、職業科のみ 2 以上の学校が 1 校、職業科 1 と総合学科の学校が 1 校）となっている。なお、普通科を設置している学校は 44 校（72.1%）であった。

男女別の学校数をみると、男子校及び女子校は無く、男女共学校が 61 校であった。

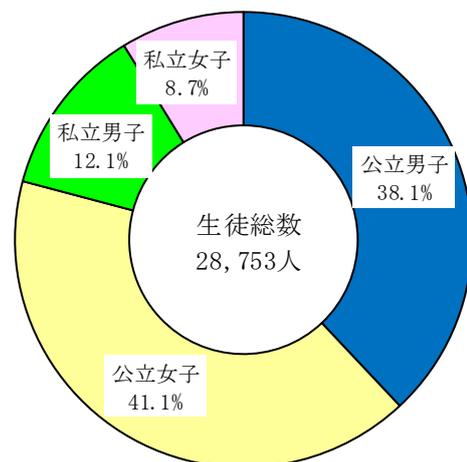
(表 14、統計表 55、56、57)

(2) 生徒数

生徒数は 28,753 人（男子 14,425 人、女子 14,328 人）で、前年度より 140 人（0.5%）増加した。これはピーク時（昭和 40 年度、65,436 人）の 43.9%となっている。

設置者別にみると、公立が 22,760 人（男子 10,940 人、女子 11,820 人）で前年度より 95 人（0.4%）増加、私立が 5,993 人（男子 3,485 人、女子 2,508 人）で前年度より 45 人（0.8%）増加している。この結果、公立が 79.2%、私立が 20.8%の割合となった。

図 8 設置者・男女別生徒数の構成



課程別にみると、全日制本科が27,273人（男子13,795人、女子13,478人）、定時制本科が1,173人（男子504人、女子669人）、全日制専攻科が136人（男子49人、女子87人）、定時制専攻科が171人（男子77人、女子94人）となっている。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が18,423人（構成比64.8%）で最も多く、次いで工業科が3,587人（同12.6%）、商業科が2,257人（同7.9%）となっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.2人（前年度12.2人）で、全国の14.1人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は、前年度より463人（4.6%）減少の9,553人（全日制9,228人、定時制325人）で、このうち、他県所在の中学校卒業者が28人（全日制28人）、過年度中学校卒業者が19人（全日制5人、定時制14人）であった。

（表14、15、16、17、図8、統計表69、70、71）

表15 学年別生徒数（本科+専攻科）

（単位：人）

年度	総数	本科				専攻科
		1年	2年	3年	4年	
平成18	29,794	9,604	9,653	10,085	90	362
19	28,830	9,631	9,344	9,446	79	330
20	28,379	9,505	9,344	9,124	84	322
21	28,110	9,314	9,254	9,141	102	299
22	28,613	10,043	9,116	9,037	102	315
23	28,753	9,579	9,837	8,938	92	307
男子	14,425	4,892	4,930	4,434	43	126
女子	14,328	4,687	4,907	4,504	49	181

表16 学科別生徒数（本科のみ）

（単位：人）

年度	総数	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成18	29,432	18,973	639	3,926	2,335	273	665	118	143	902	1,458
19	28,500	18,165	623	3,823	2,246	263	626	120	176	1,047	1,411
20	28,057	17,897	609	3,725	2,228	251	641	119	144	1,034	1,409
21	27,811	17,825	589	3,651	2,158	254	652	119	144	1,039	1,380
22	28,298	18,303	581	3,620	2,214	221	668	122	134	1,045	1,390
23	28,446	18,423	575	3,587	2,257	204	680	118	129	1,083	1,390
男子	14,299	8,858	298	3,071	911	129	63	2	4	540	423
女子	14,147	9,565	277	516	1,346	75	617	116	125	543	967

注) 理数科はその他に分類されている。

表17 学科別生徒数構成比（本科のみ）

（単位：%）

年度	総数	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成18	100.0	64.5	2.2	13.3	7.9	0.9	2.3	0.4	0.5	3.1	5.0
19	100.0	63.7	2.2	13.4	7.9	0.9	2.2	0.4	0.6	3.7	5.0
20	100.0	63.8	2.2	13.3	7.9	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
21	100.0	64.1	2.1	13.1	7.8	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
22	100.0	64.7	2.1	12.8	7.8	0.8	2.4	0.4	0.5	3.7	4.9
23	100.0	64.8	2.0	12.6	7.9	0.7	2.4	0.4	0.5	3.8	4.9
男子	100.0	61.9	2.1	21.5	6.4	0.9	0.4	0.0	0.0	3.8	3.0
女子	100.0	67.6	2.0	3.6	9.5	0.5	4.4	0.8	0.9	3.8	6.8

注) 理数科はその他に分類されている。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,354人（男子1,499人、女子855人）で、前年度より13人（0.6%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は、36.3%となっている。

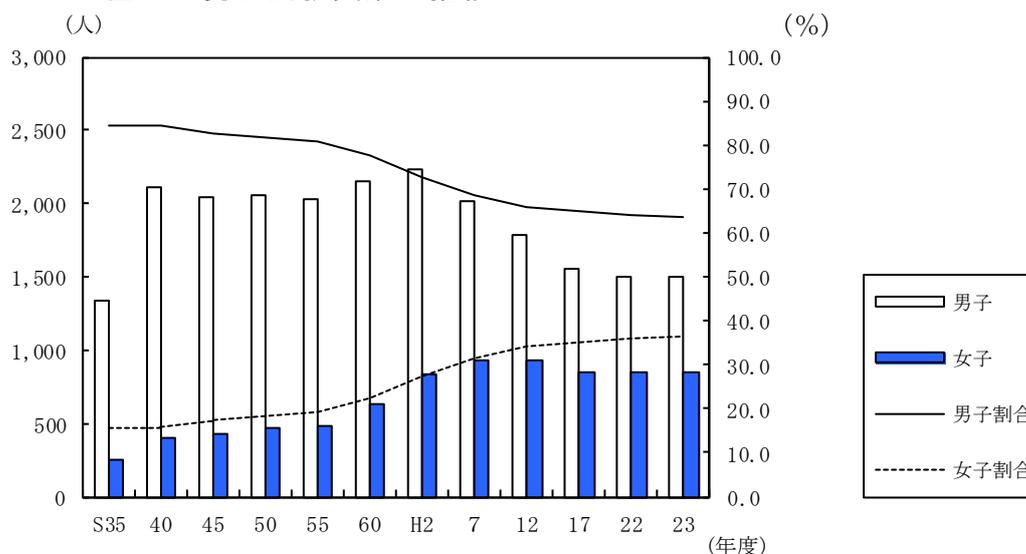
設置者別にみると、公立が1,932人（男子1,198人、女子734人）、私立が422人（男子301人、女子121人）となっている。

職員数は452人で、前年度より11人減少した。（表14、18、図9、統計表62、63、64）

表18 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成18	2,400	1,554	846
19	2,346	1,515	831
20	2,332	1,510	822
21	2,318	1,484	834
22	2,341	1,494	847
23	2,354	1,499	855

図9 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数 前年度と同数の2校（併置校2校）であった。

(2) 生徒数 1,137人（男子538人、女子599人）で、前年度より79人減少した。年齢別では、40～49歳が210人（構成比18.5%）で最も多く、次いで25～29歳が203人（同17.9%）となっている。

(3) 教員数 20人（本務者）で前年度より1人増加した。

（統計表77、78、81）

5 特別支援学校

在学者数 増加

表19 特別支援学校の推移

(単位：校、級、人、%)

区分	年度	A 学校数	B 学級数	C 在学者数	D		1学級当たり		本務教員1人当たり		
					対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
盲学校	平成18	1	16	30	7.1	48	2.1	1.9	△0.1	0.6	0.0
聾学校	平成18	2	32	68	3.0	76	4.1	2.1	0.1	0.9	0.0
養護学校	平成18	10	327	1,007	3.3	770	0.0	3.1	0.1	1.3	0.0
合計	平成18	13	375	1,105	3.4	894	0.4	2.9	0.0	1.2	0.0
特別支援学校	平成19	13	372	1,134	2.6	896	0.2	3.0	0.1	1.3	0.1
	20	13	368	1,174	3.5	896	0.0	3.2	0.2	1.3	0.0
	21	13	351	1,171	△0.3	888	△0.9	3.3	0.1	1.3	0.0
	22	13	348	1,185	1.2	891	0.3	3.4	0.1	1.3	0.0
	23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1
	国立	1	9	59	1.7	29	0.0	6.6	0.2	2.0	0.0
公立	12	342	1,156	2.6	863	0.1	3.4	0.1	1.3	0.0	

注) 平成19年度より、盲・聾・養護学校が一本化され、「特別支援学校」となった。

学校数は前年度と同数の13校であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が12校となっている。

学級数は351学級で、その内訳は、幼稚部が5学級、小学部が132学級、中学部が96学級、高等部が118学級となっている。

在学者数は1,215人(男子831人、女子384人)で、前年度より30人(2.5%)増加した。

教員数(本務者)は892人(男子271人、女子621人)で、前年度より1人(0.1%)増加した。

(表19、統計表82、83、84、87)

6 専修学校・各種学校

生徒数 専修学校は減少、各種学校は増加

【専修学校】

表20 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		総数	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成18	35	3,651	1,139	2,512	317	1,223	163	3,338	150
19	34	3,493	1,097	2,396	312	1,063	160	3,208	125
20	32	3,282	976	2,306	299	1,063	148	3,031	103
21	32	3,147	978	2,169	293	1,059	146	2,906	95
22	31	3,390	1,071	2,319	276	1,089	168	3,122	100
23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
公立	6	746	91	655	64	425	-	746	-
私立	25	2,593	952	1,641	204	679	162	2,373	58

学校数は前年度と同数の31校であり、このうち休校中の学校は1校であった。

設置者別にみると、公立が6校、私立が25校となっている。(表20、統計表89)

生徒数は3,339人で、前年度より51人(1.5%)減少した。

男女別にみると、男子が1,043人、女子が2,296人となっている。

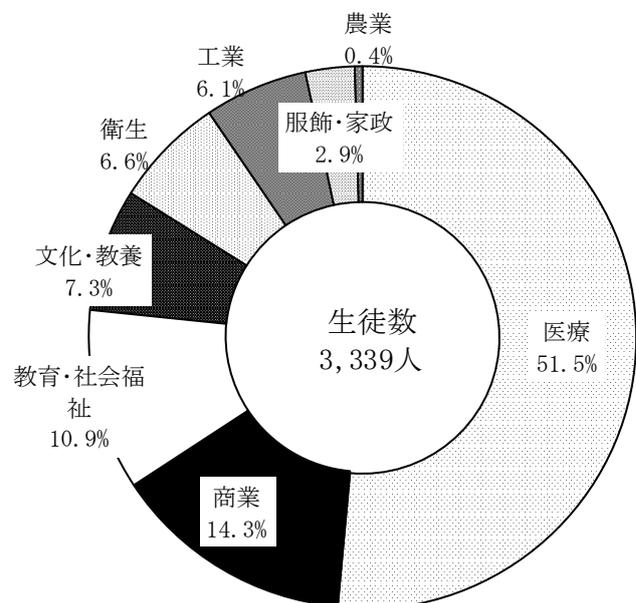
課程別では、高等課程が162人(構成比4.9%)、専門課程が3,119人(同93.4%)、一般課程が58人(同1.7%)となっている。

分野別では、医療関係1,718人、商業実務関係477人、教育・社会福祉関係364人の順に多い。

学科別では、看護1,207人、理学・作業療法174人、美容151人の順に多い。

(表20、図10、統計表93)

図10 専修学校の分野別生徒数



教員数(本務者)は268人(男子80人、女子188人)で、前年度より8人(2.9%)減少した。教員数を課程別にみると、高等課程が12人、専門課程が245人、一般課程が11人となっている。

設置者別では、公立が64人、私立が204人となっている。(表20、統計表96)

【各種学校】

表21 各種学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数(再掲)	
		総数	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成18	34	2,627	1,397	1,230	321	97	2,013	614
19	31	2,862	1,605	1,257	306	92	2,333	529
20	29	2,295	1,250	1,045	301	89	1,713	582
21	28	2,266	1,219	1,047	298	92	1,700	566
22	27	2,264	1,244	1,020	280	102	1,621	643
23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662

学校数は前年度と同数の27校であり、このうち休校中の学校は2校であった。

(表21、統計表97)

生徒数は2,431人で、前年度より167人(7.4%)増加した。

男女別にみると、男子が1,370人、女子が1,061人となっている。

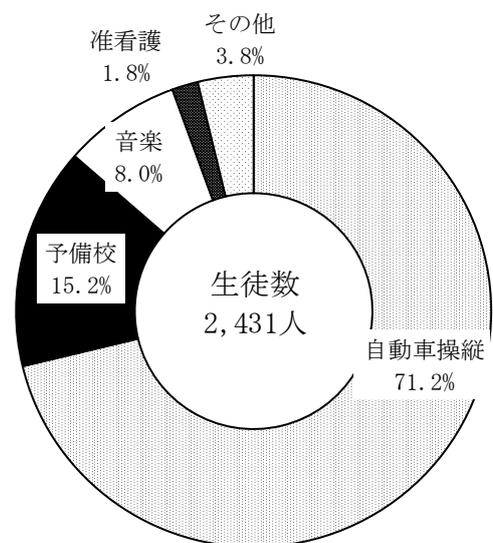
課程別では、自動車操縦1,732人、予備校369人、音楽195人の順に多い。

(表21、図11、統計表99)

教員数(本務者)は276人(男子248人、女子28人)で、前年度より4人(1.4%)減少した。

(表21、統計表102)

図11 各種学校の課程別生徒数



7 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 98.9% で全国第9位

表22 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業者 総数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 死亡 不詳	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成18	10,167	10,026	2	12	45	82	—	3	98.6	0.5
19	10,176	10,049	1	5	38	83	—	3	98.8	0.4
20	10,060	9,916	—	8	61	73	2	2	98.6	0.6
21	9,843	9,697	4	3	38	101	—	1	98.5	0.4
22	10,531	10,379	—	1	39	112	—	4	98.6	0.4
23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
男子	5,201	5,135	1	1	23	41	—	2	98.7	0.5
女子	4,843	4,797	—	—	8	38	—	—	99.1	0.2
国立	160	160	—	—	—	—	—	—	100.0	0.0
公立	9,793	9,681	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
私立	91	91	—	—	—	—	—	—	100.0	0.0

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業者数

平成23年3月の中学校卒業者数は10,044人で、前年度より487人(4.6%)減少した。

男女別にみると、男子が5,201人で前年度より133人(2.5%)減少、女子が4,843人で前年度より354人(6.8%)減少した。

進路別では、高等学校等への進学者が9,932人、専修学校等入学者が2人、就職者が31人などとなっている。(表22、統計表106、107)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は9,932人(男子5,135人、女子4,797人)で、前年度より447人(4.3%)減少した。その内訳は、高等学校全日制課程9,253人(構成比93.2%)、定時制課程311人(同3.1%)、高等専門学校251人(同2.5%)、特別支援学校高等部60人(同0.6%)、高等学校通信制課程57人(同0.6%)となっている。

他県への進学者数は140人で、前年度より27人(23.9%)増加し、進学者全体の1.4%となっている。(表23、統計表106、107)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は98.9%(前年度98.6%)で、全国第9位(前年度第13位)であった。

男女別にみると、男子が98.7%(前年度98.4%)、女子が99.1%(前年度98.7%)となっている。(表24、図12、統計表107)

表23 進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高等学 校			高等専門 学 校	特別支援 学 校
		全日制	定時制	通信制		
平成18	10,026	9,269	326	47	327	57
19	10,049	9,314	293	49	342	51
20	9,916	9,189	293	64	322	48
21	9,697	8,918	351	58	325	45
22	10,379	9,660	360	49	257	53
23	9,932	9,253	311	57	251	60
男子	5,135	4,761	130	32	171	41
女子	4,797	4,492	181	25	80	19

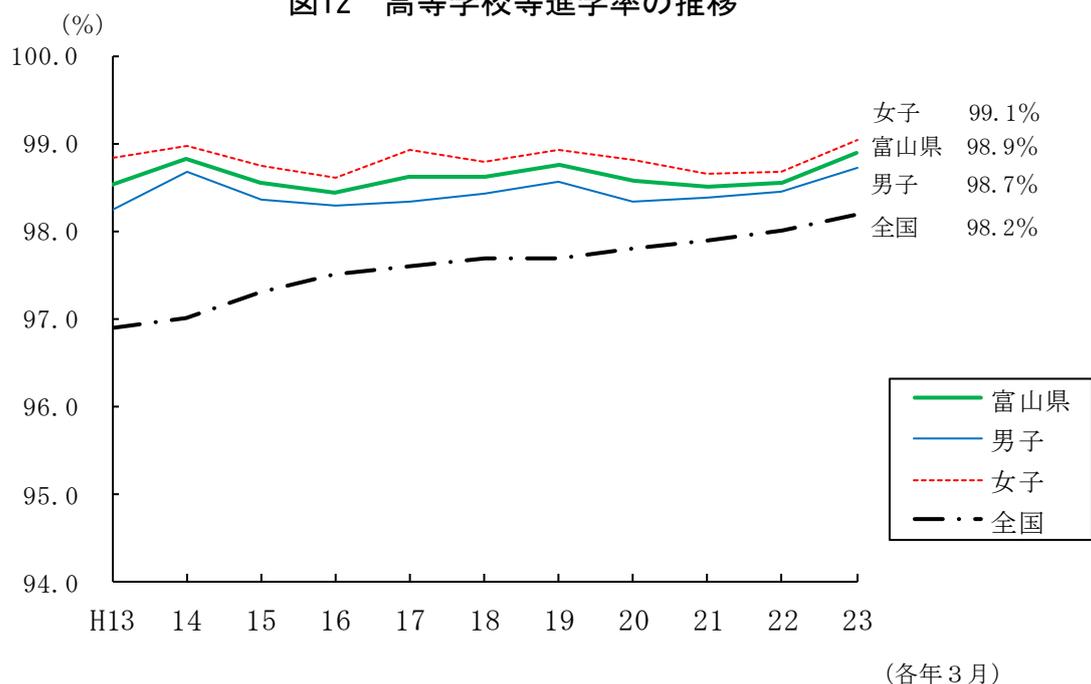
表24 進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成13	98.5	98.2	98.8	96.9
14	98.8	98.7	99.0	97.0
15	98.5	98.4	98.7	97.3
16	98.4	98.3	98.6	97.5
17	98.6	98.3	98.9	97.6
18	98.6	98.4	98.8	97.7
19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。
 高校進学率の最高は、平成6年の98.92%であった。(平成23年は98.88%)

図12 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 22 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」を足し合わせた、就職者と就職進学者を含む全就職者）は 33 人（男子 25 人、女子 8 人）で、前年度より 10 人（23.3%）減少した。その内訳は、就職者 31 人、就職進学者 2 人となっている。

就職率は 0.3%（男子 0.5%、女子 0.2%）であった。

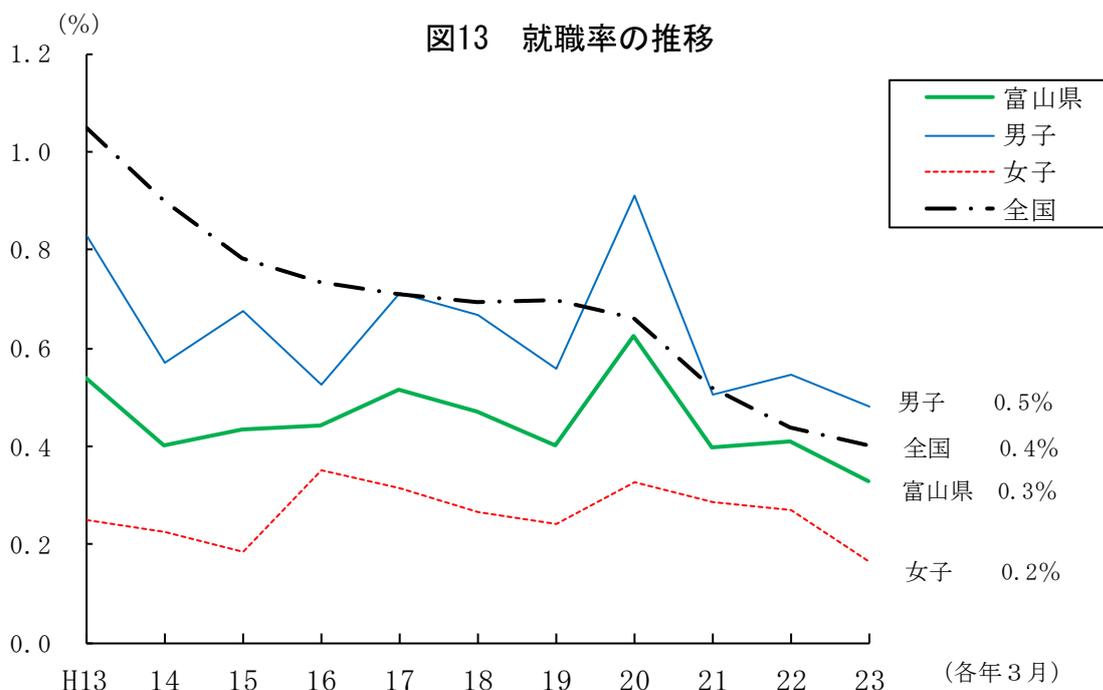
就職者総数を産業別にみると、第 1 次産業が 1 人、第 2 次産業が 16 人、第 3 次産業が 15 人となっている。

県内就職者数は 30 人（構成比 90.9%）であった。（表 22、25、図 13、統計表 107、109）

表25 就職者の推移

(単位：人、%)

各年 3 月	就職者数	うち県内 就職者	県内就職 割合
平成13	65	62	95.4
14	47	44	93.6
15	48	45	93.8
16	49	46	93.9
17	54	51	94.4
18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9



8 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 54.2% で全国第 17 位

表26 高等学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業者 総数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 一時的な 仕事に 就いた者	G 左記以 外の者	H 死亡 不詳	I BCDのうち 就職してい る者(再掲)	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+I)/A
平成											
18	9,955	5,115	1,853	817	1,948	44	178	—	7	51.4	19.6
19	9,942	5,324	1,763	692	2,002	44	117	—	10	53.6	20.2
20	9,320	5,091	1,454	724	1,886	43	121	1	10	54.6	20.3
21	8,986	4,867	1,408	668	1,876	47	120	—	1	54.2	20.9
22	9,041	4,989	1,588	672	1,620	31	141	—	9	55.2	18.0
23	8,926	4,837	1,506	737	1,708	51	85	2	13	54.2	19.3
男子	4,491	2,296	509	510	1,122	14	38	2	6	51.1	25.1
女子	4,435	2,541	997	227	586	37	47	—	7	57.3	13.4
公立	7,096	4,023	1,128	629	1,226	33	56	1	12	56.7	17.4
私立	1,830	814	378	108	482	18	29	1	1	44.5	26.4

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

※「一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

(1) 卒業者数

平成 23 年 3 月の高等学校卒業者数は 8,926 人で、前年度より 115 人 (1.3%) 減少した。

男女別にみると、男子が 4,491 人で前年度より 26 人 (0.6%) 減少、女子が 4,435 人で前年度より 89 人 (2.0%) 減少した。

設置者別では、公立が 7,096 人、私立が 1,830 人となっている。

課程別では、全日制課程が 8,684 人、定時制課程が 242 人となっている。

進路別では、大学等への進学者が 4,837 人 (構成比 54.2%)、専修学校 (専門課程) への進学者が 1,506 人 (同 16.9%)、専修学校 (一般課程) 等入学者が 737 人 (同 8.3%)、就職者が 1,708 人 (同 19.1%)、一時的な仕事に就いた者が 51 人 (同 0.6%) などとなっている。

(表 26、統計表 111、112、113、114)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4,837 人 (男子 2,296 人、女子 2,541 人) で、前年度より 152 人 (3.0%) 減少した。その内訳は、大学学部 4,025 人 (男子 2,169 人、女子 1,856 人)、短期大学本科 730 人 (男子 111 人、女子 619 人)、大学短大の別科 1 人、高等学校専攻科 78 人、大学短大の通信教育部 3 人となっている。

卒業学科別では、普通科が 3,729 人 (構成比 77.1%)、農業科が 46 人 (同 1.0%)、工業科が 192 人 (同 4.0%)、商業科が 256 人 (同 5.3%)、水産科が 14 人 (同 0.3%)、家庭科が 61 人 (同 1.3%)、看護科が 41 人 (同 0.8%)、福祉科が 10 人 (同 0.2%)、理数科等が 212 人 (同 4.4%)、総合学科が 276 人 (同 5.7%) となっている。(表 27、統計表 112)

表27 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学（学部）			短大（本科）			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	総数	男子	女子	総数	男子	女子				
平成18	4,094	2,321	1,773	934	172	762	4	81	—	2
19	4,292	2,418	1,874	954	162	792	6	71	—	1
20	4,196	2,288	1,908	820	128	692	—	73	—	2
21	4,058	2,194	1,864	745	90	655	—	64	—	—
22	4,099	2,232	1,867	798	115	683	—	91	1	—
23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3

(3) 大学等進学率

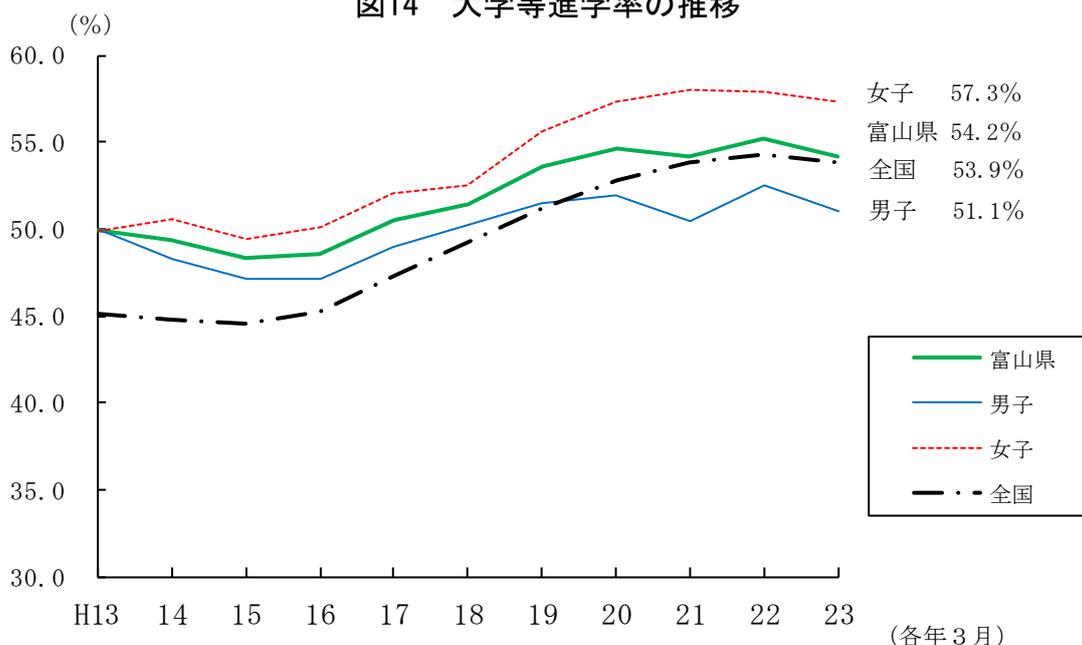
大学等進学率は54.2%で、前年度より1.0ポイント低下し、全国第17位（前年度第15位）となった。このうち、大学学部への進学率は45.1%で前年度より0.2ポイント低下し、短期大学本科への進学率は8.2%で前年度より0.6ポイント低下した。

大学等進学率を男女別にみると、男子が51.1%（前年度52.5%）、女子が57.3%（前年度57.9%）で、女子の進学率が男子を上回っているが、大学学部への進学率では、男子が48.3%（前年度49.4%）、女子が41.8%（前年度41.3%）と、男子が女子を上回っている。

女子の進学率の内訳をみると、短期大学本科への進学率（14.0%）に対し、大学学部への進学率（41.8%）が上回っている。

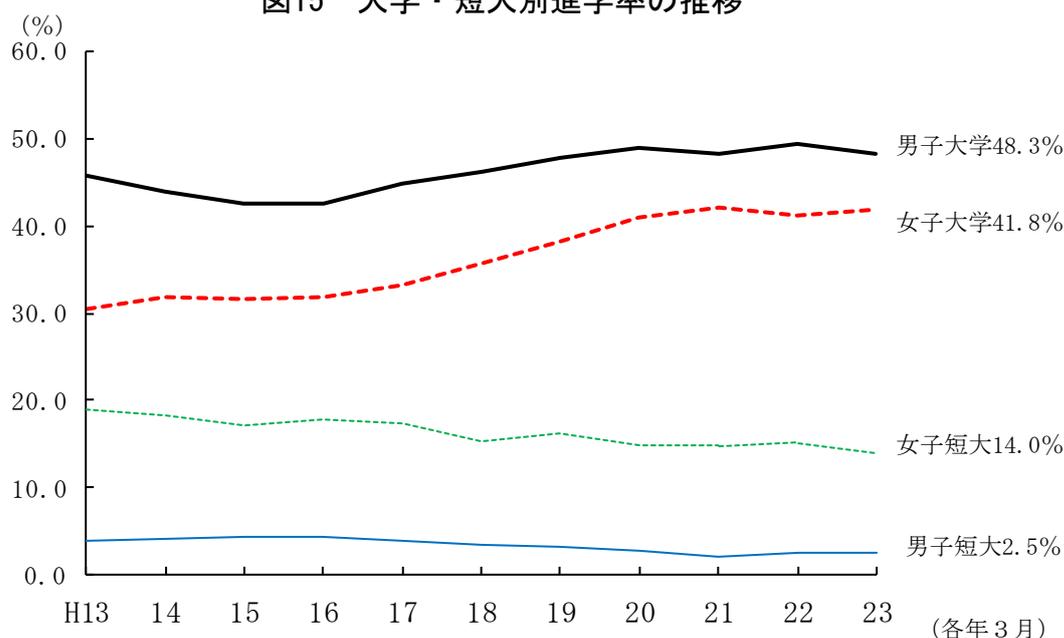
卒業学科別の進学率は、普通科が65.0%（前年度66.0%）、農業科が24.9%（前年度22.5%）、工業科が16.4%（前年度19.2%）、商業科が37.4%（前年度42.8%）、水産科が20.6%（前年度8.8%）、家庭科が31.8%（前年度33.5%）、看護科が100.0%（前年度100.0%）、福祉科が22.7%（前年度30.6%）、理数科等が62.4%（前年度67.4%）、総合学科が59.4%（前年度54.7%）となっている。（図14、15、統計表112）

図14 大学等進学率の推移



※大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。

図15 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表26の「E 就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」を足し合わせた、就職者と就職進学者を含む全就職者）は1,721人（男子1,128人、女子593人）で、前年度より92人（5.6%）増加した。その内訳は、就職者1,708人、就職進学者13人となっている。

就職率は19.3%で、前年度より1.3ポイント上昇したが、全国の16.3%を上回っている。就職率を男女別にみると、男子が25.1%（前年度23.0%）、女子が13.4%（前年度13.0%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が959人（構成比55.7%）で最も多く、次いで「建設業」が134人（同7.8%）、「卸売業・小売業」が119人（同6.9%）となっている。

職業別では、「生産工程従事者」が936人（構成比54.4%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が187人（同10.9%）、「専門的・技術的職業従事者」が122人（同7.1%）となっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者が1,610人で、県外就職者の111人を大きく上回っており、県内就職率は93.6%と、前年度より1.4ポイント上昇し、全国第2位（前年度第4位）となっている。

県外就職者の都道府県別では、石川県39人、大阪府26人、愛知県12人、東京都10人などとなっている。

（表26、28、図16、17、18、統計表112、116、117、118、119）

図16 就職者の産業別割合

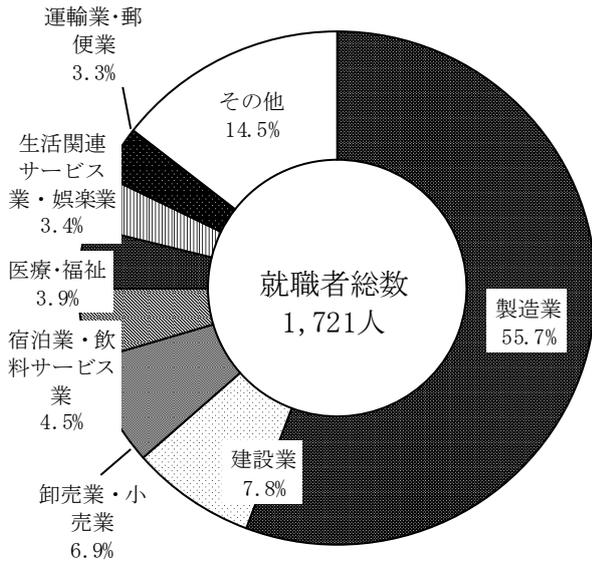


図17 就職者の職業別割合

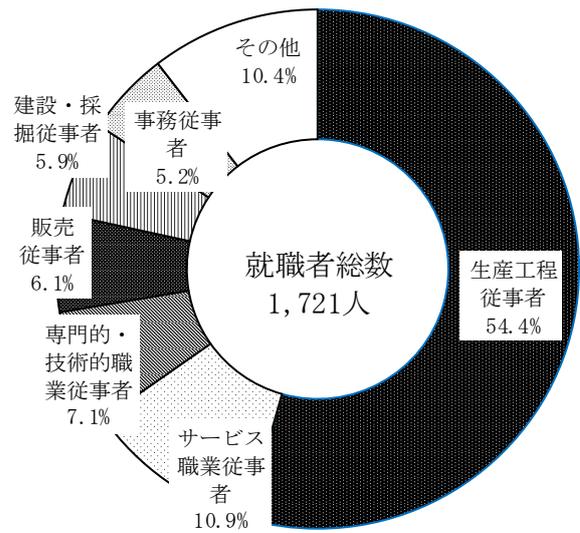
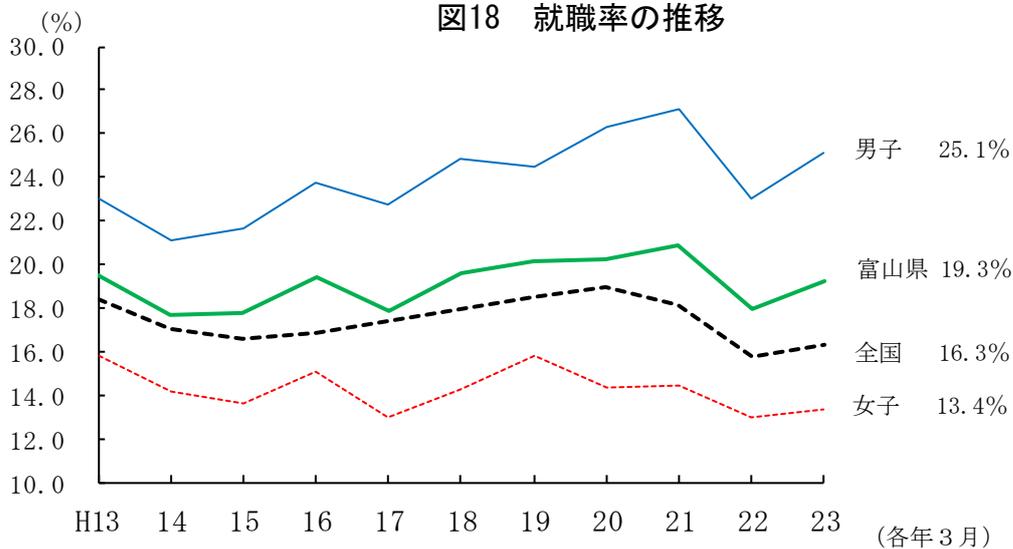


表28 就職者の推移

(単位：人、%)

各年3月	就職者数	うち県内就職者	県内就職割合
平成13	2,295	2,132	92.9
14	2,057	1,897	92.2
15	1,994	1,837	92.1
16	2,092	1,966	94.0
17	1,880	1,747	92.9
18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6

図18 就職率の推移



9 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表29 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

区分	各年 3月	A 卒業者 総数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 死亡不詳	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
盲学校	平成18	2	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聾学校	平成18	3	3	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	19	4	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
養護学校	平成18	97	97	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	19	89	89	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
特別支援学校	平成20	91	89	-	-	-	2	-	-	1	97.8	-
	21	102	99	-	-	-	3	-	-	2	97.1	-
	22	111	108	-	1	-	2	-	-	1	97.3	-
	23	96	94	-	-	-	2	-	-	-	97.9	-

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業者数

平成23年3月の特別支援学校中学部卒業者数は96人で、前年度より15人(13.5%)減少した。

(表29、統計表110)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は94人で、前年度より14人減少した。

(表29、統計表110)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は97.9%となり、前年度より0.6ポイント上昇した。

(表29、統計表110)

(4) 就職者総数

就職者数は0人となっている。

(表29、統計表110)

【高等部】

表30 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

区分	各年 3月	A 卒業者 総数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 死亡不詳	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
盲学校	平成18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聾学校	平成18	4	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	19	7	4	-	-	3	-	-	-	-	57.1	42.9
養護学校	平成18	114	1	-	3	34	75	1	-	60	0.9	29.8
	19	110	-	-	3	27	80	-	-	51	-	24.5
特別支援学校	平成20	121	1	1	3	30	86	-	-	70	0.8	24.8
	21	158	3	-	2	37	116	-	-	91	1.9	23.4
	22	141	1	-	1	37	102	-	-	81	0.7	26.2
	23	136	3	1	-	31	101	-	-	86	2.2	22.8

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

(1) 卒業者数

平成23年3月の特別支援学校高等部卒業者数は136人で前年度より5人(3.5%)減少した。

(表30、統計表120)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は3人で、前年度より2人増加した。

(表30、統計表120)

(3) 大学等進学率

大学等進学率は2.2%となり、前年度より1.5ポイント上昇した。

(表30、統計表120)

(4) 就職者総数

就職者数は31人で前年度より6人減少した。

(表30、統計表120)